

いつでも だれでも
 安心してかかれる
 医療を

ひのだい新聞

発行所 野台新聞
 編集委員 会
 連絡先 野台診療所
 連日

市民の親睦の集い、開かれる

慣れない手つきで
 ひい、ふう、みい



旧正月の集い
 二月十三日の午後、社会教育センターにおいて旧正月の集いが開かれました。そこでは森田市長の話があり、また市民から市長に対する建設的な意見、心打たれる話、市長への期待なども表明されました。バザー、百人一首なども行われ、それは日野市民が、そして森田市長が親睦と信頼を深め、楽しげの中にも有意義なひとときでした。

春浅き二月十三日、午後から新春の集いがひらかれました。森田市長さんも途中から見えられ、市長選六期に向けての力強いあいさつ、そして二・三人の方から二十年の実績への評価、今後の応援がありました。その後にはカルタとり、百人一首やお手玉、けん玉等の楽しい遊びで、我を忘れて興じあいました。中でもバザーが一番心に残りました。有志の方々の、心のこもる沢山の品々、またその品々を売る方々、心を打たれました。ふと、まわりをみれば知り合いです。すっかり足が弱くなると「私は最近す。」と付き添いの方と参加していただきましたが、きっと診療所への感謝と大切だと思ふ心の表れだろうと、独り思ふ午後のひとときでした。

今井 ゆき子

「旧正月の集い」に出席して森田市長は、保守・革新を問わず市民の声をよく聞いてくれる人だ。健生会協会の会員の多くが持っている医療や福祉への願いも、この人が市長だからこそ、実現するのだと思います。市長が常に新鮮で若々しいのは憲法を市政に生かすという政治姿勢があるからだと思えます。私も健康の許す限り皆さんと一緒に頑張ります。

大下 博
 (元市議会議長)

旧正月の集いに参加して半日子供にかえって楽しく過ごさせていただきました。また市民のため、老人のために力をいれ、森田市長さんに、これからの引き続き日野市を守っていただきたい気持ちで深く感じています。そして日夜、診療所でお働きの先生、看護婦さん方のご負担が少しでも軽くなるようにと願わずにはいられます。そのためには是非、六期も頑張り市長さんには是非、六期も頑張り市長さんには是非、六期も頑張り市長さんを応援してまいります。

K.S.



